

令和8年度 第1回 浜名中学校 学校運営協議会

4月17日(金) 14:30~16:30 会議室

「自治の精神」～声を掛け合い、認め合う～

司会:(太田 佐知江)

授業参観 14:30~15:00 (6校時)

全体会 15:00~16:30

- 1 開会の言葉 (司会)
- 2 委員任命書の交付
- 3 浜松市学校運営協議会規則の確認……別冊1
- 4 委員の自己紹介(名簿順に)
- 5 会長あいさつ
- 6 校長あいさつ
- 7 議長の選出
- 8 前回議事録の確認(教頭)……P4~P5
- 9 熟議
 - (1) 令和8年度学校運営の基本方針の説明と承認 (校長)……P6~P8
 - (2) いじめ防止等のための基本的な方針について (生徒指導主事)……別冊2
 - (3) 夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について (教頭)
 - (4) 令和7年度の振り返りと令和8年度の目標……P10
 - (5) 生徒会・学校運営協議会交流会……P11

令和8年度 学校経営方針

浜松市立浜名中学校

R8.4.1 (水)

<生徒の実態>

- 明るく素直で礼儀正しく、規律ある行動を取ることができる。
- はじめに学習態度で、課題等に積極的に取り組む。
- 自発的な行動や自己表現ことが苦手で、他者との関係を上手に築けない
- 自ら計画を立て、粘り強く取り組むことが苦手である。

1 校訓 「高めよマナー」

本校はこれまで「マナーの学校」として、あいさつや正しい身なり、円滑な人間関係づくりなどの指導を続けてきた。昨年度と今年度は合言葉を「高めよマナー浜松1」と設定しこれらの意識向上に努めてきた。

「立志・礼節・敬愛」も大切な要素ではあるが、生徒や教員の誰もが、学校教育の柱である校訓を分かりやすく意識をしてもらうために、かつての校訓「高めよマナー」に変更することとした。

2 学校教育目標 「自ら考え、判断し、実践できる生徒 ～切磋琢磨～」

○合言葉 「自治の精神」～声を掛け合い 認め合う～

○めざす生徒像

徳：互いの個性を尊重し、思いやり・時と場に応じたマナーを身に付けた生徒

知：主体的に学び、自己有用感を身に付けた生徒

体：目標を定め、全力を尽くす、心身ともにたくましい生徒

○目指す学校像

・生徒が安心して学べ、学力が身に付く学校

・保護者や地域に愛され信頼される学校

・教職員が充実感をもって働ける学校

○めざす教師像

・人間味あふれる教師

・分かる授業・楽しい授業を行う教師

・使命感・倫理観をもった教師

3 描く夢や未来の実現

【「主体性」「多様性・包摂性」】

<地域の願い>

「明るいあいさつで 豊かなふるさとをつくろう」(中学校区の目指す子供の姿健全育成会の目標)

【研修】 研究主題 「自信をもって、主体的に学ぶ生徒の育成」

人間性の向上

- ◎キャリア教育<身に付けさせたい4つの力>
- ◎GIGAスクール<個別最適化された学び>

<地域に還元>

ボランティア教育の推進：「地域に元気を運ぶ 浜中生」

【「信頼・協働」】

○浜名中応援団

・学校運営協議会

防災教育・リーダー講習会・面接練習会・指揮者講習会・職場体験活動 など
・学校・地域の応援団

P T A 部活動育成会 自治会・町内会 校区青少年健全育成会 民生児童委員

応援団合言葉「学校と地域に元気を運ぶ浜名中応援団」

4 職員の皆様へのお願い

- (1) 先生方の「持ち味（個性）」を発揮（余暇を楽しむ など）
- (2) どの子にも夢や希望を持たせる言葉掛けや指導（ペップトーク など）
- (3) 新学習指導要領に沿った授業改善（指導と評価の一体化 など）
- (4) 丁寧な生徒指導（カウンセリングマインド、丁寧な言葉遣い など）
- (5) 確かな人間関係づくりが最も大切（明るく、親身に、誠実に など）
- (6) 明るく丁寧な対応（笑顔、あいさつ、さわやかな身なり など）
- (7) 職員と家族を大切に（互いに支え合う姿勢、「お互い様」の考え など）
- (8) 不祥事絶滅（体罰、暴言、セクハラ、飲酒運転、不適切会計 など）



＜学校教育目標＞
自ら考え、判断し、実践できる生徒
～切磋琢磨～

＜校訓＞
高めよ
マナー

合言葉：「自治の精神」～声を掛け合い 認め合う～

＜目指す生徒像＞			
徳	互いの個性を尊重し、思いやり・時と場に応じたマナーを身に付けた生徒	知	主体的に学び、自己有用感を身に付けた生徒
＜目指す学校像＞	○生徒が安心して学べ、学力が身に付く学校 ○保護者や地域に愛され信頼される学校 ○教職員が充実感をもって働ける学校	＜目指す教師像＞	○人間味あふれる教師 ○分かる授業・楽しい授業を行う教師 ○使命感・倫理観をもった教師
体	目標を定め、全力を尽くす、心身ともにまじい生徒		

描く夢や未来の実現

「主体性」「多様性・包摂性」

【研修】 研究主題 「自信をもって、主体的に学ぶ生徒の育成」

＜学習の土台作り＞

- 学級での活躍の場づくり…学ぶことの意義を理解し、主体的に学びに向かう姿勢
- あなたかい集団づくり…誰一人取り残さない支援の実現
- 自己有用感の高まる環境づくり…生徒同士、地域の方々など多様な他者との協働

○キャリア教育＜身に付けさせたい4つの力＞

- 「かかわる力」…個性の尊重、他者への働き掛け
- 「みつめる力」…自己の役割の理解
- 「ふかめる力」…課題発見、計画、立案、実行
- 「みとおす力」…学ぶこと、働くことの意味

○GIGAスクール＜個別最適化された学び＞

- ICT教育…実生活・実社会につながる学びの充実
- タブレット活用…授業での有効活用
- 個に応じた活用…個別対応・生徒指導
- 情報モラル…ルールやマナー教育の推進

中学校区の目指す子供の姿：健全育成会の目標
「明るいあいさつで 豊かなふるさとをつくる」

「地域に元気を運ぶ 浜中生」
ボランティア教育の推進

「信頼・協働」

＜浜名中応援団＞

学校支援活動の充実

＜学校運営協議会＞

【防災教育・リーダー講習会・面接練習会・指揮者講習会・職場体験活動など】

＜学校・地域の応援団＞

P T A 部活動育成会 自治会・町内会 校区青少年健全育成会 民生児童委員

応援団合言葉 「学校と地域に元気を運ぶ浜名中応援団」

(様式1)

令和8年4月17日

浜松市立浜名中学校
夢をはぐくむ学校づくり推進協議会
代表 佐々木 大輔 様

浜松市立浜名中学校運営協議会
会長 竹内 佐織

夢育やまいか事業に対する意見書

令和8年4月17日に開催した学校運営協議会において、下記の意見を議決
しましたので報告します。

記

1 学校運営の基本方針を具現化するための意見

- ① 地域に様々な分野で活躍している人がいるため、浜名中の応援団として、積極的に活用して地域からのキャリア教育を推進するべきである。
⇒ 地域で農園を所有し、野菜栽培について専門的な知識や豊富な経験を持っていてる人を講師として招き、野菜の栽培と収穫体験活動を行う。
- ② 命を大切にする教育を推進するために、地域をよく知る専門的な知識や技能を持つ人から、学校に助言をする機会を持つべきである。
⇒ 地域の防災士の資格を有している人や、災害ボランティアとして活動をしている人を校内で実施する避難訓練に招聘し、避難経路や身を守る方法について助言をもらう。
- ③ 様々な生き方に触れ、将来への夢や希望を抱く機会となるよう進路指導をより充実させるべきである。
⇒ 将来への目標を持ち、よりよい進路実現ができるように、高校出前講座の体験や学校運営協議会の委員や地域の人々、企業の方からの講話を聴く機会を設ける。

(様式1)

学校番号 (中036)

令和7年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(浜名中) 学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

「高めよマナー」 「自治の精神」を具現化する生徒の育成を目指した活動に取り組むという目標は、校訓・教育目標や学校運営の基本方針に沿いながら、生徒の主体性を重視した目標になっている。具体的に目指す学校や生徒の姿が明確であるため、学校運営協議会として取り組む活動の方向性も明確になる目標であった。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

⇒ **ア** よくできた **イ** できた **ウ** あまりできなかった **エ** できなかった
(理由)
今年度、校訓を「高めよマナー」に変更したことや、グラウンドデザインに「切磋琢磨」を追記したことなどについて校長の理念を聞き、協議会で熟議したことで理解を深め、賛同することができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

⇒ **ア** よくできた **イ** できた **ウ** あまりできなかった **エ** できなかった
(理由)
生徒が自分らしさを発揮し、自己有用感を持ち、学校生活を送ることができるようにイメージして熟議を進めることができた。それを受けた協議会として学校を支援する活動に関しては、委員共有のもと十分に話し合い、活動につなげることができた。
・ポランティア活動や職場体験の充実に向けた議論は今後、一層推進する必要がある。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

⇒ **ア** 充分に行った **イ** 行った **ウ** あまり行わなかった **エ** 行わなかった
(理由)
・学校ホームページ、常盤木日より、コミュニティスクールだよりで地域や保護者に情報発信を迅速に行った。さらに、委員個人で、所属する団体に声を掛けたりPTAに働き掛けたりするなど地道な取り組みも行った。
・今後、どの程度、地域や保護者に学校運営協議会の活動が認知されているのか状況把握を行うことが必要である。

＜評価項目4＞ 今年度の評価を踏まえた来年度の目標

・学校と地域・生徒をつなげられるような具体的な活動を企画し、委員だけでなく地域住民や企業が活動に参加してもらうための広報活動について熟議を行っていく。
・学校のニーズに応じた支援活動を今後も継続するなかで、学校と地域がともに活性化するような活動内容について熟議を行っていく。

生徒会と学校運営協議会委員 交流会

- 1 交流会の目的説明【教頭】 3分…16：00～16：03
 - 2 自己紹介を兼ねてのアイスブレイク【司会：生徒会役員】 8分…16：03～16：11
 - 「タイムトラベルトーク」
 - ・協議会委員：自己紹介と中学生の時に「はまっていたこと」、「楽しかったこと」を紹介
 - ・生徒会の : 自己紹介(氏名、呼んでほしいニックネーム、生徒会での役割)と20年後の自分が「はまっていたほしいこと」「楽しんでほしいこと」を紹介
 - グループ1 竹内 佐織、大高 旭、加藤 弘明、横田 尚久、井田 正人
長谷川 優乃(3-3)、窪谷徠夢(3-6)、杉浦悠飛(3-2)
 - グループ2 晝馬 るみ、井口 恵丞、佐々木大輔、太田佐知江、内山 益巳
船越結那(3-8)、今井優奈(3-5)、鈴木兜天(2-6)、山口さくら(2-5)
- 3 前期生徒会活動ブラッシュアップ作戦【司会：生徒会役員】 16：11～16：30
 - (1) 生徒会、専門委員会活動の紹介

(2) 活動をよりよくするためのアイデアを協議

(3) 全体で共有

【メモ】